

第8回初台プロジェクト会議

～学校と地域：教育によるコミュニティ形成のカタチ～

開催報告

【開催概要】

日時：平成23年9月2日（金）19:00～

場所：住友不動産西新宿ビル6号館 4-1 会議室

出席者： 27名

1. 初台の学校と地域について

（関東国際高等学校 黒澤企画推進部長）

関東国際高等学校の黒澤部長からは、今年の7/25(月)～7/27(水)に行われたSHIBUYA ENGLISH CAMP2011についてお話いただきました。

この取り組みは渋谷区内の中学生から希望者を募り、関東国際高校の英語のネイティブ教員の指導の下、3日間英語だけで課外活動を行うものだそうです。参加者はグループに分かれ、日常生活の他、英語で歌や劇等を練習し最後に発表も行うそうです。各グループにはサポーターとして当校の学生も入っています。

こちらの学校では、幅広く世界で活躍できる人材育成をめざし、韓国語や中国語等、他の言語も幅広く教えているということです。

■主な質疑内容

Q.このような活動で、大人を対象とするものはありますか？(住民)

A.現状ではありません。ニーズがあれば企画したいと考えています。様々な言語を教えることのできる人材がいるため、地域でシェアできるようになるとよいのではないかと考えています。

(黒澤部長)

2. 芸術士のいる保育所の挑戦について

（NPO アーキペラゴ 三井理事長、太田芸術士）

NPO アーキペラゴの三井理事長と太田芸術士からは芸術士の取り組みについてお話いただきました。

芸術士とは子供達の感性と創造を最大限に引き出す手助けを行う人のことで、高松市を中心に活動しているそうです。芸術士は週に1～3回保育園に行き、子供たちと一緒に人形劇や絵の具遊び等様々なアートを使った遊びを行っているそうです。それぞれの内容は、大人向けのものとなっており、アーティストの作品を



配布いただいたパンフレット



NPOアーキペラゴの概要

